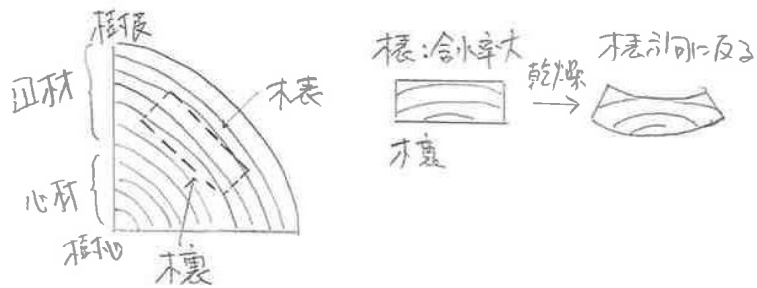


平成26年NO27 木材

1. 木表と木裏の乾燥収縮 → 含水率が大きい。木表側の収縮率が大きく木表方向に反る
2. 木材の強度と気乾比重 → 一般には同一乾燥状態の場合、気乾比重が大きいほど強度が高い。
3. 木材の繊維方向の基準強度 → 一般には圧縮強度より引張強度のほうが大きい。
4. 木材の引火温度と発火温度 → 引火温度約260℃, 発火温度約450℃

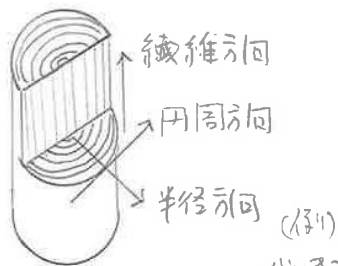
1. 木表と木裏の乾燥収縮



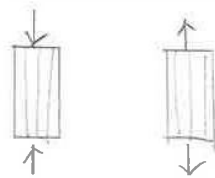
2. 木材の強度と気乾比重

↓ 約15%
木材を乾燥させた時の重さと、同じ体積の水の重さと比較した値
(約15%) ↓ 大きいと
重量が重く、一般には隙間が少なく密な木材
↓
強度が高い

3. 木材の繊維方向の基準強度 告示145号



圧縮強度 > 引張強度



111号 甲種2級	18.0	13.8	N/mm ²
210号 甲種2級	27.0	20.4	

4. 木材の引火温度と発火温度

引火温度: 火源に近づけたときに火がついて燃え始める温度
(約260℃)

発火温度: 火源がなくても自然に発火する温度
(約450℃)